

今月のトピックス

あざみ野ヒルトップ

「課題解決の為のチームアプローチ」

今月も「リハビリ卒業に向けてチームで関わった方の報告 Vol.2」です。
今回の主題は、ご家族や他職種と情報共有するための“連携ノート”です。
ご利用者の①生活課題を引き出し、②その解決をするために、
どのようにノートを活用したら良いのか？そのポイントまとめました！！

★胸椎腫瘍にて入院加療後、在宅サービスを開始した 80 代女性

- ・課題 1：腰を捻じる、曲げすぎの禁止だが自己管理できずに、腰痛を繰り返す
- ・課題 2：日中独居であり、サービス時間以外のご様子を把握しにくい。

ポイント① 自立支援につなげる連携ノート活用方法“2つのポイント”

関係者全員が各サービスの連絡ノートをサービス時に目を通す工夫を！！

- ・各事業所の連絡ノートの場所を 1 つ
- ・ページを開いてすぐに目に留まるように工夫

【ポイント①の例】



ポイント② 各サービスでみられている課題を投げかけチーム全体で対策を共有し、実践！！

・サービス時の様子だけでなく、他職種に向けて課題を投げかけやりとりしたノートの例を以下に示します

発信の例①：通所スタッフから訪問スタッフへ

腰痛の訴えが頻回に聞かれます。良い方法などあれば教えてください！

↓

どんな時に痛みを訴えますか？

↓

特に座り込む時と立ち上がる時です。

↓

腰痛を発生しにくい方法を紙面で作成したので、ご活用いただき、結果を教えてください。

発信の例②：訪問スタッフから通所スタッフへ

自宅では日中臥床していることが多いです。通所では、楽しんでされている活動などありますか？

↓

皆さんと歌を歌うこと、折り紙などの手作業も楽しんでいます。

↓

自宅でも取り組める活動や、練習してほしい課題があれば教えてください。

↓

折り紙は得意のようですので、お家でも取り組みやすいかと思います。

お気軽にご相談ください
あざみ野ヒルトップ
☎ 045-901-1550

サービス時にみられている課題を他サービスにも投げかけ、その対処と一緒に考えるプロセスが自立支援には重要でした

